

平成29年11月 8 日

魚沼市議会議長 森 島 守 人 様

福祉文教委員会

委員長 佐 藤 肇

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
(2) 現地調査の総括
(3) 第7期介護保険事業計画について
(4) その他

- 2 調査の経過 11月8日に委員会を開催し、福祉施設の現地調査と総括を行った。
第7期介護保険事業計画について、執行部の説明を受け質疑を行った。
その他で、守門中学校・入広瀬中学校統合準備状況について執行部の報告を受け、質疑を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

(2) 現地調査の総括

(3) 第7期介護保険事業計画について

(4) その他

2 日 時 平成29年11月8日 午後1時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 浅井宏昭、星野みゆき、大平恭児、佐藤 肇、関矢孝夫、本田 篤、
(森島守人議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 梅田教育長、桑原福祉課長、堀沢教育次長、桑原介護福祉室長、
小林介護保険係長

7 書 記 櫻井議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (13:00)

佐藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。本田委員から遅刻の申し出がありましたので報告いたします。これから本日の会議を開きます。

(1) 現地調査

佐藤委員長 日程第1、現地調査を議題とします。お手元に配付しました行程表のとおりサポートセンターすわ町、養護老人ホーム南山荘及びデイサービスセンターひまわりの現地調査を行います。しばらくの間、休憩します。

休 憩 (13:01)

休憩中に現地調査

再 開 (16 : 04)

佐藤委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

(2) 現地調査の総括

佐藤委員長 日程第2、現地調査の総括を議題とします。執行部から説明はありませんか。

桑原福祉課長 福祉課所管の3施設をご覧いただきましたが、それぞれ若干の考えもあって見ていただきましたので、福祉課としてその部分をお話しさせていただきたいと思います。最初のサポートセンターすわ町につきましては、2階部分が看護小規模多機能型居宅介護、市内では初めての施設ということですし、県内でもまだ数例しかない施設ということでご覧いただきました。その後、指定管理施設を2カ所見ていただきましたが、養護老人ホーム南山荘につきましては、施設長のお話もありましたけれども、大分老朽化が進んでいることと相部屋であることによって施設管理がなかなかうまくいかない面があるということで、市として今後南山荘をどうしようかという検討を今年度から来年度にかけて始めたいという意向があり見ていただきました。また、デイサービスセンターひまわりでございますけれども、施設は比較的新しくまだ十分使える施設ですし、介護事業のために使っている施設でございます。この施設につきましては、今後相談する部分も残っていますけれども、将来的には譲渡の方向で福祉課としては検討させていただきたいと考えておりますので、そこら辺も踏まえてご覧いただきました。

佐藤委員長 委員の皆さんからご意見はありませんか。

関矢委員 今ほど課長のほうから南山荘について今後考えるということですが、建て替えだとかということでしょうか。

桑原福祉課長 建て替えも含めて今後どのようにあるべきかを検討したいということで、現地建て替えにこだわらず白紙のところから検討したいと福祉課では考えています。

関矢委員 それは今年度中くらいですか。

桑原福祉課長 これから検討に入りまして、目安としては来年度中くらいの日程でやりたいと思っていますけれども、いつからどのように具体的に取にかかるといいうことも含めての検討を来年度中くらいにしたいという考えです。

関矢委員 3施設を見させてもらいましたけれども、最初のサポートセンターすわ町につきましては、大変新しいし、いい施設だと思うんですけども、利用料が介護度2で14万6,910円とありますが、これが全部利用者負担になると思います。これだけの利用料を払える人たちが魚沼市内の介護施設を利用する人たちにどれだけいるのか、そう考えたときに、最後にデイサービスひまわりの方が言っていましたけれども、やはり特養の整備が必要ではないか。そのような方向で低所得者が入れる介護施設というのを魚沼市は目指さなければならぬと私は思って見てきました。

大平委員 今ほど特養の話が関矢委員から出されましたけれど、そういう意味からすると特養が非常に大事で、これからやっぱり整備していかなければならないと改めて認識を私もさせていただきました。それともう一つは、南山荘という養護老人ホームの位置づけというのを、その前段階としてきちんと整備するのも必要かなというふうに思います。特に低

所得者、今よりも恐らくあと数年後あるいは10年後を考えた中でふえることが予想され、そういう施設、特にこれからは核家族化して身寄りがなくなるとか困難な状況がいろいろケース・バイ・ケースで出てくる中で、底辺のところの整備は欠かせないんじゃないかなと思います。もちろん所得があつてすわ町のような施設に入れる人はそれなりにいらっしゃると思いますが、所得階層に配慮した施設あるいはサービスをどうやって提供するか、スタッフの確保も含めて考えていく必要があるんじゃないかなと思いました。加えて老朽化ということがありましたが、施設全体もそうですが備品関係も含めても、結構特注サイズだとか、なかなか一般に汎用されていないような福祉施設の備品関係についても、自治体である魚沼市がしっかり関与した中で、受け入れる法人や民間業者の方々と一緒に福祉施設を運営、維持管理していく道筋をこの介護保険計画の中にしっかり位置づけることが必要かと思いました。

本田委員　大変有意義な視察をさせていただきまして、委員長から取り計らいいただきましてありがとうございます。私も今回考えさせていただいたのは利用料金というところですが、サポートセンターすわ町さんにつきましては、事業上の設定金額でやられているというところで適正な価格だとは思っておりますし、また、多くの方に利用していただきたいと思っております。その一方で南山荘あるいは美雪園の施設長さんが話したとおりセーフティネットというような幅広い受け皿というところは、2人の委員のおっしゃるとおりかもしれません。ただ、介護サービスというきちんとした人の生活を世話するという事業の中では、やはり適正な事業というのは必要であつて、さらにその前段としての制度としてのセーフティネットというのは、より必要なのかなと。要は、これからの行政というのは、個々の市民の生活の中まで踏み込んでサポートしていく、そういう体制というのが将来的には求められるのかなと思っております。それを受けた中で精力的に活動していくというのが福祉事業の根幹であるというふうに思っていますので、それぞれの事業所さんが一生懸命やられていますので、とりあえずは今後も頑張りたいと思いますし、制度面については我々もより研究していく必要があるのかなというふうに感じました。

星野委員　質疑になりますが、南山荘は、基本は今では1人部屋で1人6畳くらいと聞いたのですが、その規定には当てはまらないかと思うんですけど、そこを県や国から指摘されることはないんですか。

桑原福祉課長　施設整備したときの基準ではクリアしていたはずですので、現状では施設長も既存不適格という言葉を使っていますが、指摘されることはないようです。

佐藤委員長　現状のままだと改修工事はできないんですね。

桑原福祉課長　特に消防法関係だと改修工事をする際にその時々最新の基準をクリアしないといけないと思いますが、例えば2人部屋であることとかがどの程度の改修だとクリアしなければならないという詳細までは、今は承知しておりません。

星野委員　全てにおいて大変なんだというのがよくわかって、南山荘さんにおいては精神障害に精通している方がいないとすごく大変だということがわかりましたし、ほかの方々もかなり高齢になられているということで、職員の確保の問題や、皆さんがおっしゃっていたように一般の方々が入りやすい特養が一番必要なのかなと思われまます。また、備品の金額があまりにも高くて驚いたことと、その補助がこちらのほうからできていけたら負担が少なく、よくなっていくのかなと思ひ、また勉強させていただきたいと思いました。

浅井委員 3カ所目に見てきたデイサービスセンターひまわりなんですけれども、屋根の瓦に関して、魚沼市で補助していけるのであれば、瓦を全部なくして別の方法で屋根を改修して補助したほうがいいと思うので、その辺を検討したほうがいいかと思います。

佐藤委員長 このことについて、福祉課では検討されていますか。

桑原福祉課長 最初に申し上げた譲渡の検討の1つとして、譲渡する前には現在の所有者としてその部分をクリアしてから譲渡したほうがいいとは考えています。

本田委員 関連してお聞きしたいんですけど、屋根を全面改修する見積もりをとったことはありますか。

桑原福祉課長 見積もりをとったことがあります。

本田委員 いくらくらいになりましたか。

小林介護保険係長 設計で300万円前後、工事で4,500万から5,000万円の間くらいをめどとしております。

星野委員 今ほど、ひまわりさんは譲渡の方向で考えられているとおっしゃいましたけれども、ほかの施設で譲渡を検討されているところはあるんでしょうか。

桑原福祉課長 市として候補として考えているところはありますけれども、ちょっとまだ検討すべき点が残っているものが多く、そういう意味ではひまわりさんが一番整理ができているということでご紹介させていただきました。

星野委員 じゃ、ひまわりさんのほかに候補はあるけれども、まだ確定にはなっていないということですね。

桑原福祉課長 ほかにいくつか福祉事業所としてご利用いただいている市の施設もありますので、そういったところは一旦は候補にあげていますが、まだまだ相談すべきことが残っているということです。

浅井委員 さっきおっしゃっていた屋根の工事費で約5,000万円ということですが、それは瓦じゃないですね。

桑原福祉課長 瓦ではないです。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) 本件につきましては、以上とします。

(3) 第7期介護保険事業計画について

佐藤委員長 日程第3、第7期介護保険事業計画についてを議題とします。執行部から資料が提出されておりますので、説明を求めます。

桑原福祉課長 第7期介護保険事業計画に関連して資料を2つ用意させていただきました。かいつまんでの説明とさせていただきますが、資料1につきましては、地域包括ケアシステム基本構想について、いわゆる2025年問題ということで高齢者がふえて量的なピークが見えてきている中で、引き続き住み慣れた地域に住んでいただける地域をどうつくろうかということを中心とした基本構想です。あくまでも構想で、具体的な取り組みにつきましては、この後説明させていただきます次期介護保険事業計画等に落とし込んでいくことになっております。また、地域包括支援センターのことを構想に基づいて来年度以降取り組みたいという部分もあります。資料2につきましては、今現在、次期介護保険事業計画の策定作業を進めているところでございますが、現在の段階ではありますけれども次期計画

の介護保険料の試算が出ましたので、現状での見通しと、あわせて先ほどから出ております特養を50床整備したいということを含めました施設整備の量的な部分についての現状での見通しを説明させていただきまして、来月改めて介護保険事業計画の案ということで、これらの内容を盛り込んだものをまたご審議いただきたいと思います。きょうはその中で特徴的な部分をかいつまんで説明させていただきます。

桑原介護福祉室長 （資料「魚沼市地域包括ケアシステム基本構想について」及び「保険料基準額（月額）試算」により説明）

小林介護保険係長 補足ですけれども、資料2につきましては、11月に全国規模の集計が予定されています。それに向けて今現在、内容を詰めている段階ということでご理解いただきたいと思います。まず、推計人口につきましては、これまで平成25年3月の国立社人研の推計人口を使用しておりましたが、厚生労働省のほうで第7期計画用の推計人口の提供がありましたので、保険料の推計につきましては厚生労働省が示した推計人口を使用しております。平成37年の数字については、ほぼ近い数字になっております。ただ、スタート時点の平成29年の第1号被保険者数がこれまでの推計より低くなっております。その関係で、前回の委員会では2020年、平成32年に高齢者人口がピークとお伝えしましたが、厚生労働省が示した新たな計画用の推計人口では2025年あたりがピークになっておりますので、その点が前回の説明と異なっておりますのでご承知いただきたいと思います。それからもう一点、サービス量の推計につきましては、見える化システムの中でこれまでの給付の実績等を踏まえた中でシステム上で推計されています。主にサービス量につきましては、平成29年度のサービス量がまだ年度途中で少ないので、今現在は平成27年度から28年度へのサービスの伸びを使って推計しています。今後、29年の実績が積み上がってきたところで、28年から29年の伸びを用いて再度推計をし直す形になります。さらに、今後は介護報酬改定等も予定されておりますので、今後変更もありうるということで捉えていただきたいと思っております。（資料「保険料及び基準額（月額）試算」により説明）

佐藤委員長 これから質疑を行います。（なし）きょう資料が提出されたばかりですので、次回、引き続き調査していくこととします。

（４）その他

佐藤委員長 日程第4、その他を議題とします。執行部から資料が提出されておりますので、説明を求めます。

堀沢教育次長 入広瀬中学校・守門中学校の統合準備委員会の進捗状況について説明させていただきます。お手元に資料を配布させていただきましたが、これから入広瀬及び守門地区に配布いたします統合準備委員会ニュース及びアンケート用紙になります。ニュースの第1号では、準備委員会での検討が始まり、専門部会でどのようなことが検討されるのか、検討されたのかという内容になっております。新しい学校名を公募した結果としては、174件87種類の応募があったことも記載させていただいております。また、第2号では、その新学校名の応募から候補が6点に絞り込まれたこと、アンケートを行うことを記載しています。このアンケートにつきましては、入広瀬及び守門地区の住民が対象となり、区長さんに配布、回収のお願いをするものです。市のホームページにおきましては、全体会の検

討内容及び次回の予定日時、12月11日の月曜日が予定されておりますが、を公表してはいますが、全体会、専門部会の日程と市報の締め切りの関係から、紙ベースでの市民全体に対する周知は学校名が決定してから行いたいと市民全体に周知を行いたいと考えています。なお、今後のスケジュールとしては、新学校名が決定した後、12月20日ころから校章のデザイン、校歌についての公募を順次行う予定としています。

佐藤委員長　これから質疑を行います。

大平委員　次の全体会はいつですか。

堀沢教育次長　12月11日、月曜日、夜7時から守門庁舎の3階で開催します。

本田委員　学校名についてですけれども、27日締め切りということですが、いつごろ決定されますか。

堀沢教育次長　ニュースにも記載されておりますが、27日までに区長さんに提出ということになり、その後回収させていただき、最終的には12月11日の全体会におきまして1本に絞り込まれます。それを教育委員会に答申する形になり、12月の教育委員会におきまして最終的な決定の運びになる見込みであります。

大平委員　ニュースの第1号の裏面に部活の状況が書いてあるんですけど、結構議論のあるところになるんじゃないかと思うんですが、ここは市民の方や直接保護者の方にアンケートとか意向を聞く場面はあるんですか。

堀沢教育次長　それも記載がありますが、専門部会におきましても重大事案ですので、そこだけではなかなか絞り切れないところもございますので、アンケート調査を行った上で決定していきたいというふうになっております。

浅井委員　部活動のことなんですけれども、現時点である部活がここへ出ているんですけれども、アンケートをとってこれ以外に新しく部活ができることはありますか。

堀沢教育次長　今現在は、そういったことに関しては考えていませんが、どのようなアンケート結果が出るかにもよると思います。

佐藤委員長　ほかにありませんか。(なし) 本件につきましては、今後も引き続き調査していくこととします。ほかに執行部から報告事項等はありませんか。(なし) 委員の皆さんから協議事項等はありませんか。(なし) 以上で、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思います。本日の福祉文教委員会はこれで閉会といたします。

閉　　会 (16 : 52)